

ダイワ・ブルベア・ファンドⅣ

ブル3倍日本株ポートフォリオⅣ
ベア2倍日本株ポートフォリオⅣ
ブルベア・マネー・ポートフォリオⅣ

満期償還(償還日 2018年9月7日)

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4628>
<4629>
<4627>

ブル3倍日本株ポートフォリオⅣ

<4628>

追加型投信／国内／株式／特殊型 (ブル・ベア型)

満期償還 2018年9月7日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の株価指数先物取引およびわが国の債券に投資し、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの3倍程度となることをめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	14,125円92銭
	純資産総額	1,753百万円
償還期	騰落率	47.3%

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
 0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
 お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。

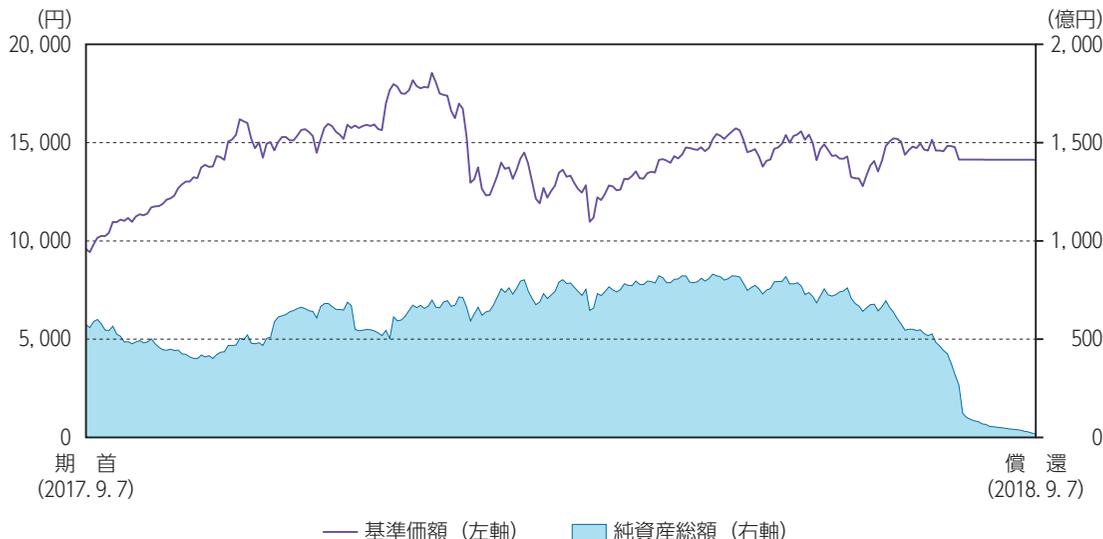
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → 「ファンド情報」から「償還済ファンド(運用報告書)」を選択 → 償還済ファンドのリストから当ファンドを選択 → 「運用報告書(全体版)」を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,591円
 償還時：14,125円92銭
 騰落率：47.3%

■ 基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きが日経平均株価の値動きの3倍程度の動きとなることをめざして運用を行ないました。2017年10月に衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを好感し日経平均株価が上昇したため、基準価額は上昇しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017.9.8~2018.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	143円	1.004%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,248円です。
(投 信 会 社)	(46)	(0.324)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(92)	(0.648)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(5)	(0.032)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	13	0.092	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(13)	(0.092)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.008)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	158	1.106	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2015年9月9日を10,000として指数化したものです。

*参考指数は日経平均株価です。

	2015年9月10日 設定	2016年9月7日 決算日	2017年9月7日 決算日	2018年9月7日 償還時
基準価額 (円)	10,000	6,614	9,591	14,125.92
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	—
基準価額の騰落率 (%)	—	△33.9	45.0	47.3
日経平均株価騰落率 (%)	—	△9.4	14.0	15.0
純資産総額 (百万円)	400	67,688	57,365	1,753

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

設定以来の投資環境について

(2015. 9. 10 ~ 2018. 9. 7)

国内株式市況

国内株式市況は、設定時より、中国を中心とした世界経済の先行き不透明感が広がったことや日銀のマイナス金利導入の影響から銀行株が大幅に下落したことなどを背景に、軟調な推移となりました。2016年後半以降は、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利を受けて、同氏の政策に対する期待から上昇基調に転じ、その後もフランス大統領選挙で中道派のマクロン氏が極右政党の候補者を抑えて当選したことなどをを受けて、底堅く推移しました。2017年10月には、衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを好感し、一段高となりました。2018年以降は、米国長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどを嫌気し、上値の重い展開で償還を迎えました。

信託期間中の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するとともに、わが国の株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の3倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの3倍程度となることをめざして運用を行ないます。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

信託期間中のポートフォリオについて

(2015.9.10～2018.9.7)

当ファンド

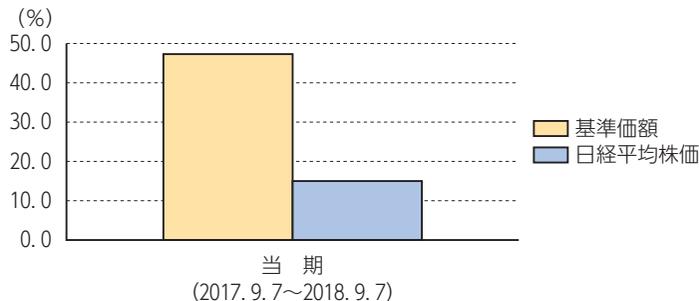
日経平均株価先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、純資産総額の3倍程度となるよう調整しました。また、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資し、純資産総額に対して大きな追加設定および解約があった場合を除き、50～70%程度の組み入れを維持しました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

信託期間中の収益分配につきましては、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



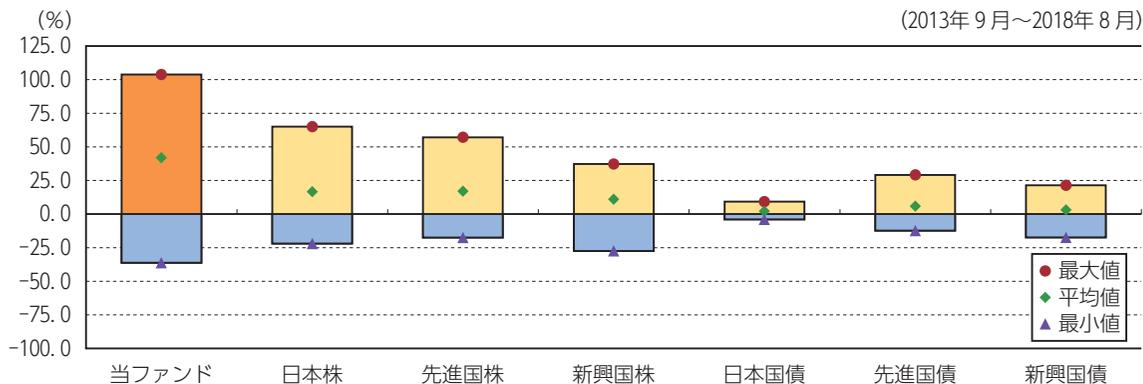
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	約3年間（2015年9月10日～2018年9月7日）	
運用方針	日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの3倍程度となることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	わが国の株価指数先物取引、わが国の債券およびダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、残存期間の短いわが国の債券およびマザーファンドの受益証券に投資するとともに、わが国の株価指数先物取引を買い建てます。</p> <p>②株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の3倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの3倍程度となることをめざします。</p> <p>③追加設定、解約がある場合、既存受益者と新規受益者の公平性を維持するために、設定金額と解約金額の差額分に対して、原則として、当日中に株価指数先物取引を買建てもしくは転売するものとします。この結果、株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額の3倍程度にならないことがあります。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。</p> <p>②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないました。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	103.8	65.0	57.1	37.2	9.3	29.1	21.4
平均値	41.9	16.6	16.9	10.9	2.1	5.8	3.1
最小値	△ 36.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは、設定日が2015年9月10日であることから、年間騰落率が算出できない期間があるため、算出可能な期間についてのみ表示しています。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2018年9月7日
純資産総額	1,753,184,801円
受益権総口数	1,241,111,875口
1万口当り基準価額	14,125円92銭

* 当期中における追加設定元本額は173,903,193,127円、同解約元本額は232,475,521,469円です。

* その他の詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

ベア2倍日本株ポートフォリオⅣ

<4629>

追加型投信／国内／株式／特殊型 (ブル・ベア型)

満期償還 2018年9月7日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の株価指数先物取引およびわが国の債券に投資し、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの2倍程度逆となることをめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	3,825円32銭
	純資産総額	295百万円
償還期	騰落率	△33.3%

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
 0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
 お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
 FONT

見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。

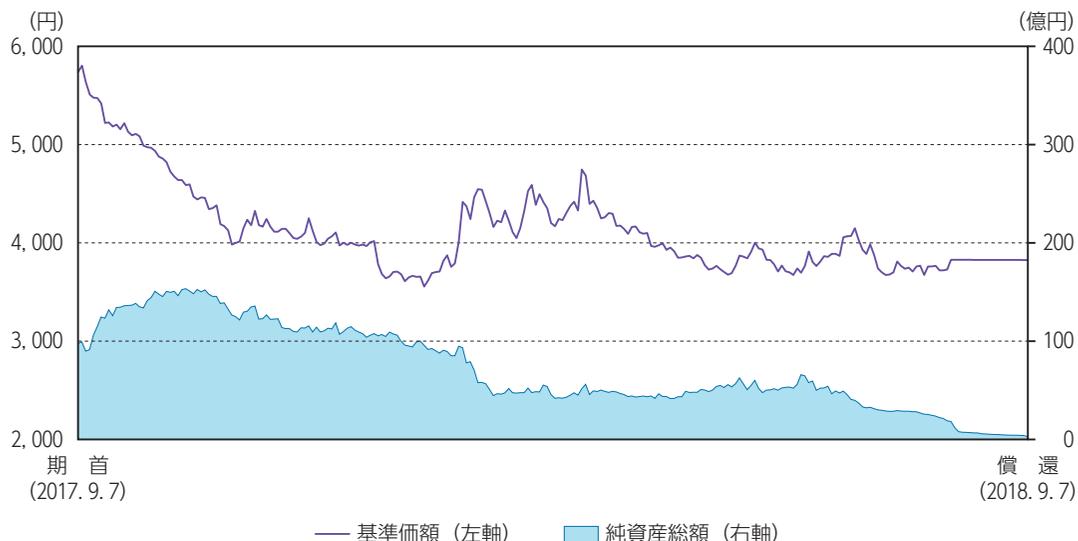
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → 「ファンド情報」から「償還済ファンド(運用報告書)」を選択 → 償還済ファンドのリストから当ファンドを選択 → 「運用報告書(全体版)」を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期首：5,737円

償還時：3,825円32銭

騰落率：△33.3%

■基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きが日経平均株価の値動きの2倍程度逆の動きとなることをめざして運用を行ないました。2017年10月に衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを好感し日経平均株価が上昇したため、基準価額は下落しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017.9.8~2018.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	1.004%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,118円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.324)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.648)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.032)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.077	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(3)	(0.077)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.005)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	45	1.090	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2015年9月9日を10,000として指数化したものです。

* 参考指数は日経平均株価です。

	2015年9月10日 設定	2016年9月7日 決算日	2017年9月7日 決算日	2018年9月7日 償還時
基準価額 (円)	10,000	8,471	5,737	3,825.32
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	—
基準価額の騰落率 (%)	—	△15.3	△32.3	△33.3
日経平均株価騰落率 (%)	—	△9.4	14.0	15.0
純資産総額 (百万円)	600	7,690	9,744	295

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

設定以来の投資環境について

(2015.9.10～2018.9.7)

国内株式市況

国内株式市況は、設定時より、中国を中心とした世界経済の先行き不透明感が広がったことや日銀のマイナス金利導入の影響から銀行株が大幅に下落したことなどを背景に、軟調な推移となりました。2016年後半以降は、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利を受けて、同氏の政策に対する期待から上昇基調に転じ、その後もフランス大統領選挙で中道派のマクロン氏が極右政党の候補者を抑えて当選したことなどをを受けて、底堅く推移しました。2017年10月には、衆議院議員選挙で連立与党が勝利したことなどを好感し、一段高となりました。2018年以降は、米国長期金利が上昇したことや米中貿易摩擦への懸念が高まったことなどを嫌気し、上値の重い展開で償還を迎えました。

信託期間中の運用方針

当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資するとともに、わが国の株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの2倍程度逆となることをめざして運用を行ないます。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

信託期間中のポートフォリオについて

(2015.9.10～2018.9.7)

当ファンド

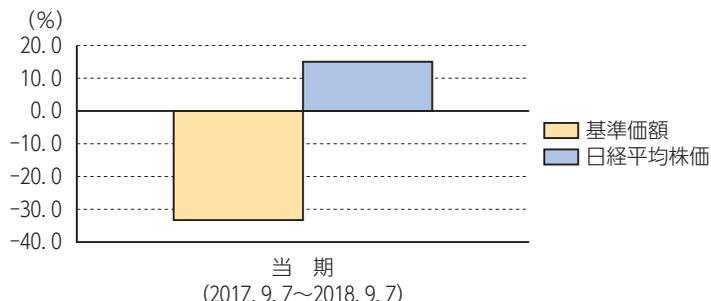
日経平均株価先物取引の売建玉の時価総額の合計額が、純資産総額の2倍程度となるよう調整しました。また、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券に投資し、純資産総額に対して大きな追加設定および解約があった場合を除き、50～70%程度の組み入れを維持しました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

信託期間中の収益分配につきましては、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



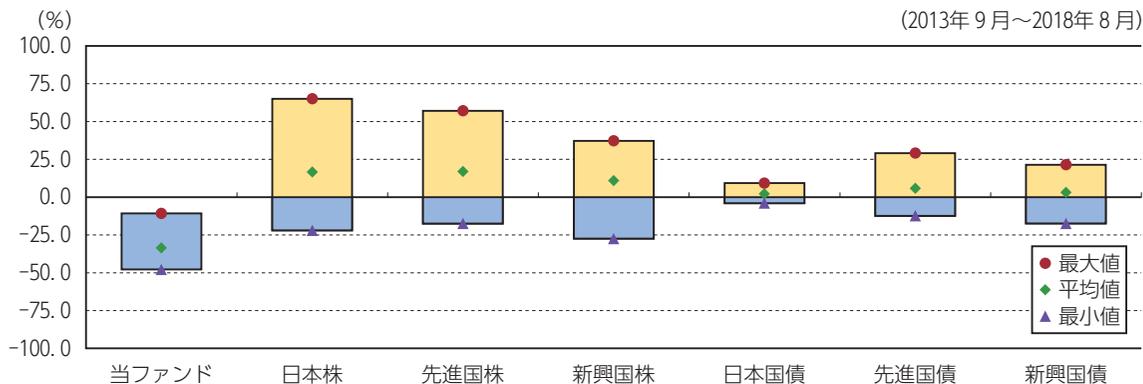
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	約3年間（2015年9月10日～2018年9月7日）	
運用方針	日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの2倍程度逆となることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	わが国の株価指数先物取引、わが国の債券およびダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、残存期間の短いわが国の債券およびマザーファンドの受益証券に投資するとともに、わが国の株価指数先物取引を売り建てます。</p> <p>②株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が、原則として、信託財産の純資産総額の2倍程度になるように調整することにより、日々の基準価額の値動きがわが国の株式市場の値動きの2倍程度逆となることをめざします。</p> <p>③追加設定、解約がある場合、既存受益者と新規受益者の公平性を維持するために、設定金額と解約金額の差額分に対して、原則として、当日中に株価指数先物取引を買建てもしくは買戻しするものとします。この結果、株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額の2倍程度にならないことがあります。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。</p> <p>②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないました。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	△ 10.8	65.0	57.1	37.2	9.3	29.1	21.4
平均値	△ 33.6	16.6	16.9	10.9	2.1	5.8	3.1
最小値	△ 47.8	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは、設定日が2015年9月10日であることから、年間騰落率が算出できない期間があるため、算出可能な期間についてのみ表示しています。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2018年9月7日
純資産総額	295,378,471円
受益権総口数	772,167,289口
1万口当り基準価額	3,825円32銭

* 当期中における追加設定元本額は160,203,033,817円、同解約元本額は176,417,873,474円です。

* その他の詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

ブルベア・マネー・ポートフォリオⅣ

<4627>

追加型投信／国内／債券

満期償還 2018年9月7日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国の債券を中心に投資し、利息収入の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	9,984円11銭
	純資産総額	2,007百万円
償還期	騰落率	△0.1%

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

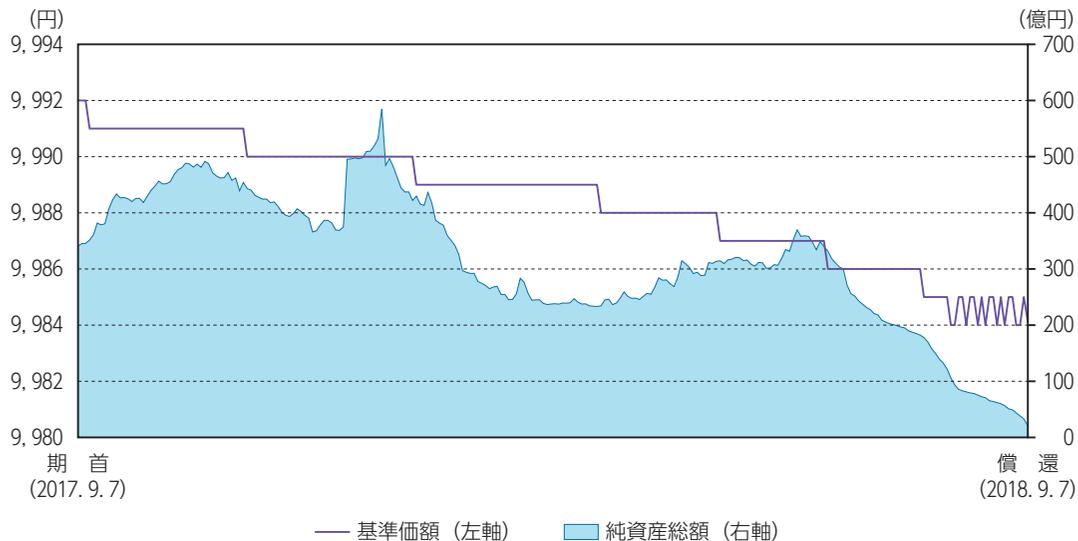
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → 「ファンド情報」から「償還済ファンド(運用報告書)」を選択 → 償還済ファンドのリストから当ファンドを選択 → 「運用報告書(全体版)」を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,992円

償還時：9,984円11銭

騰落率：△0.1%

■ 基準価額の主な変動要因

低金利環境であったことなどから、基準価額は下落しました。

1万口当りの費用の明細

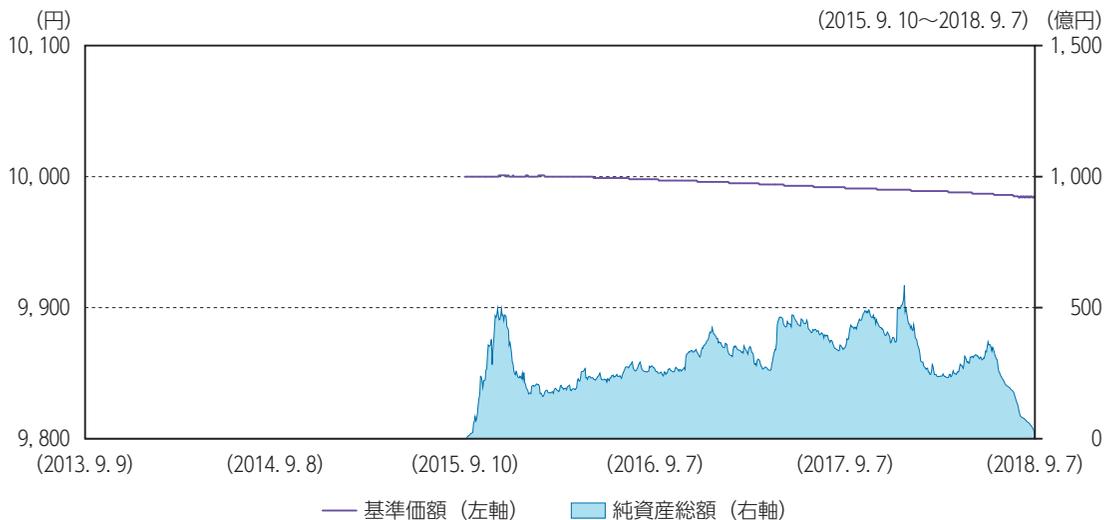
項 目	当 期 (2017.9.8~2018.9.7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	一円	—%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,988円です。
(投 信 会 社)	(一)	(一)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(一)	(一)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(一)	(一)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	1	0.007	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移について



	2015年9月10日 設定	2016年9月7日 決算日	2017年9月7日 決算日	2018年9月7日 償還時
基準価額 (円)	10,000	9,998	9,992	9,984.11
分配金 (税込み) (円)	—	0	0	—
基準価額の騰落率 (%)	—	△0.0	△0.1	△0.1
純資産総額 (百万円)	1	27,609	34,096	2,007

(注) 当ファンドは、「ダイワ・ブルベア・ファンドⅣ」を構成するファンドのスイッチング資金を一時滞留させる受け皿としての役割を持ったファンドであり、わが国の債券を中心に安定運用を行ないます。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

設定以来の投資環境について

(2015. 9. 10 ~ 2018. 9. 7)

国内短期金融市況

国内短期金利は、設定時より、日銀の追加緩和観測などから低下しました。日銀は、2016年1月にマイナス金利付き量的・質的金融緩和策を導入し、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和策を導入しました。このような金融政策を背景に、国内短期金利は恒常的にマイナス圏で推移しました。2017年以降は、主要先進国において金融政策の正常化観測が進む中、日本も緩和的な金融政策の運営方針を転換するのではないかとの思惑が浮上しました。国内短期金利はマイナス幅を縮小させつつも引き続きマイナス圏で推移し、おおむね横ばいの展開で償還を迎えました。

信託期間中の運用方針

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

信託期間中のポートフォリオについて

(2015. 9. 10 ~ 2018. 9. 7)

当ファンド

「ダイワ・マネー・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

信託期間中の収益分配金につきましては、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



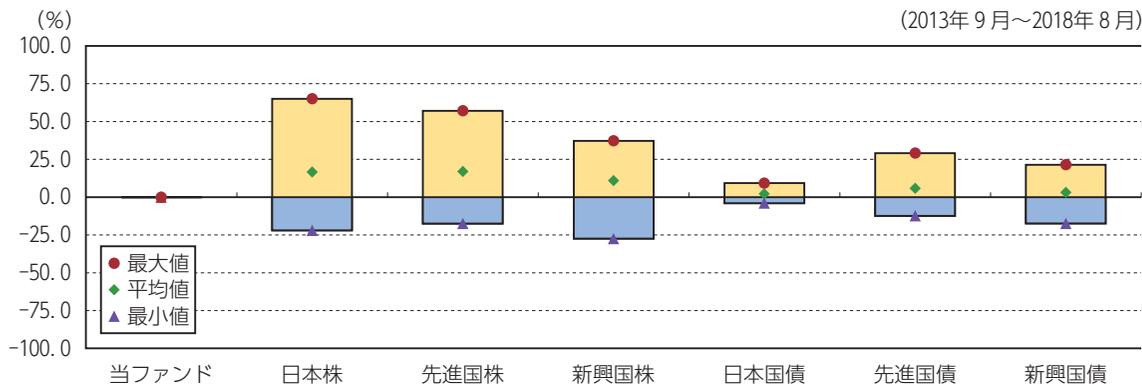
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	約3年間（2015年9月10日～2018年9月7日）	
運用方針	主としてわが国の債券への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券 ロ. 本邦通貨表示の債券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
ベビーファンドの運用方法	①マザーファンドの受益証券およびわが国の債券を中心に投資することにより、安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A-2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないました。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	△ 0.0	65.0	57.1	37.2	9.3	29.1	21.4
平均値	△ 0.1	16.6	16.9	10.9	2.1	5.8	3.1
最小値	△ 0.1	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※当ファンドは、設定日が2015年9月10日であることから、年間騰落率が算出できない期間があるため、算出可能な期間についてのみ表示しています。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーキング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーキング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーキング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村証券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーキング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2018年9月7日
純資産総額	2,007,489,233円
受益権総口数	2,010,683,528口
1万口当り基準価額	9,984円11銭

* 当期中における追加設定元本額は223,184,962,289円、同解約元本額は255,299,045,055円です。

* その他の詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。